

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回東松山市子育て支援センター運営委員会					
開 催 日 時	令和6年10月30日(水)			開 会	午後3時00分	
				閉 会	午後4時30分	
開 催 場 所	東松山市子育て支援センターソーレ きりん1・2					
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 協議事項 東松山市子育て支援センターソーレ・マーレの管理運営について 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	1人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	大塚 綾子	出席	委 員	川上 さやか	出席
	副会長	杉浦 裕美	出席	委 員	原口 智美	出席
	委 員	堀 綾	出席	委 員	柿田 和子	出席
	委 員	小高 淑美	出席			
事 務 局	こども支援課長 大石 和夫			マーレ所長 小笠原 里香		
	こども支援課主任 白川 幸恵			(株)コマーム第2事業部部長 笹野 晋助		
	こども支援課主事 高田 慧美佳			(株)コマーム第2事業部マネージャー 木村 美紀子		
	ソーレ所長 北村 満子					

次 第	顛 末
1 開 会	事務局：大石課長
2 挨 拶	大塚会長
3 協議事項	<p>(大塚会長)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきますが、その前に2点、議事録の署名委員と会議の公開について確認させていただきます。</p> <p>まず、本日の議事録に署名いただく委員を指名させていただきます。杉浦副会長と柿田委員をお願いいたします。</p> <p>次に、会議の公開についてですが、本日の協議事項は、非公開とする協議事項はなく、公開としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>(大塚会長)</p> <p>それでは、本会議は公開とします。</p> <p>事務局にお伺いしますが、本日は、傍聴希望者はいますか。</p> <p>(事務局：大石課長)</p> <p>1名おります。</p> <p>(大塚会長)</p> <p>それでは、傍聴人の入室をお願いいたします。</p> <p>—入室—</p> <p>傍聴人は傍聴要領に従って、傍聴されるようお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に進みたいと思います。</p> <p>議事の東松山市子育て支援センターソーレ・マーレの管理運営について事務局より説明をお願いします。</p>

(事務局：小笠原所長)

— 1～6頁に基づき、ひろば事業、つどい事業について説明—

(大塚会長)

ありがとうございます。ここまでで、ご意見等ありましたらお願いします。

毎月開催のパパとの交流について、お父さんは何人参加されていますか。

(事務局：北村所長)

マーレは4月11名、5月9名、6月6名、7月7名、8月は2日間開催で21名、9月4名です。

ソーレは、4月6名、5月は手形を取ったので21名でした。週末はお父さんの利用が多いです。パパとの交流のことを知って来る方もいれば、事前には知らなかったけど参加される方もいます。

(大塚会長)

にこにこタイムを一緒にやるというのがとても良いと思いました。こどもも喜びますね。

猛暑のなか来館する方って去年と比べて減りましたか。増えましたか。

(事務局：北村所長)

暑すぎて出られないからか、赤ちゃんは利用が少ないと感じました。全体的にみると4、5月よりも7、8月の方が来館者は多いです。暑いから来館するという方が多いと思います。逆に10月11月は来館者が減ります。

(大塚会長)

保育園の子育てひろばは、暑さが難点で、利用者が少なかったです。ソーレ・マーレは、こどもがきても安心していられるという場所になっていると感じます。

他にご質問ありますか。

それでは、3相談事業について説明をお願いします。

(事務局：北村所長)

— 6～9頁に基づき、相談事業、情報提供事業、子育て支援事業について説明—

(大塚会長)

ここまでの件で、ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

(川上委員)

行事予定表には、発達支援相談のことについて「おしゃべり」と書いてあり、何のおしゃべりかわからず、何でも相談していいと伺っていたので、高橋先生に発達支援以外のこともお話していました。行事予定表に発達支援と書いた方が分かりやすいと思いました。

(事務局：北村所長)

発達支援と行事予定表に書いてしまうと、高橋先生に相談しているから発達支援で悩んでいるのかなと他の利用者に思われてしまう場合があるという高橋先生の意向で、おしゃべりという名前にしています。何でも知っている保育士の先生で、何でも聞いてほしいという高橋先生の意向がありますが、高橋先生とまた相談して、検討したいと思います。

(川上委員)

インスタグラムを先日拝見しました。プレママパパ見学会もHPだけではなく、インスタグラムでも周知できるとより具体的な支援になるかと思います。

以前の運営委員会で、行事予定表を市のアプリで掲載するのはいかがでしょうかと提案し、すぐに対応してもらいました。そのような連携がとれると良いのかなと思いました。

(事務局：北村所長)

ありがとうございます。

(大塚会長)

プレママパパ事業はあまり多くない人数ですね。インスタグラムはアカウントをフォローしていると情報が入りやすいので、プレママパパには敷居が低くなるのではないかと思います。

(杉浦副会長)

ソーレ・マーレで気軽に相談ができることは良いと思います。相談件数はどれくらいですか。

(事務局：北村所長)

例えば、高橋先生とのおしゃべり相談のうち、発達支援に係る相談については、報告をもらっています。

ソーレは4月5件、5月7件、6月5件、7月3件、8月6件、9月7件、10月5件です。ただ、高橋先生からほとんどが継続の必要なしと報告をもらっています。

高橋先生から報告をもらうことで、スタッフも上手にお母さんたちと関わることができています。

また、言語聴覚士等の専門職員の方の相談件数は、1回あたり約3、4件です。

(事務局：小笠原所長)

マーレでの高橋先生とのおしゃべり相談の件数は月約3～4件です。また、言語聴覚士等の専門職員の相談日を目指して来てくれる利用者がいます。

(杉浦副会長)

普段行き慣れたところで相談できるのはありがたいと思いますので、ぜひこれからも相談できる場としてソーレ・マーレで行って欲しいと思います。

こども家庭センターに行くとなると、保健センターの2階まで行かないといけないので、敷居が高いと思うんですね。

私たちも、悩んでいる方がいたら、ソーレ・マーレで相談できると周知していきたいと思います。

(大塚会長)

保健センターも相談事業をやっていますが、親も子も緊張してしまい、いつもの姿は見せにくいですね。いつもの姿を見てもらうことは非常に伝わりやすいですね。

(杉浦副会長)

スタッフも、その子に対しての関わり方が分かるのであれば良いと思います。

(堀委員)

ママ講師講座については、参加料無料ですか。講師されている方はボランティアですか。それとも謝礼をお支払いされていますか。

(事務局：北村所長)

参加者は無料です。ママ講師講座だけでなく、その他イベント・講座も無料です。講師については、今年度から始めたため、講師料はお支払いしておりません。今後、継続して開催できるかはまだわからないが講師料をお支払いできるかもしれないと伝えています。お茶やお菓子などお気持ちはお渡ししています。お母さんたちは、自分が役に立っている、必要とされている気持ちが楽しいと言っていると思います。

(堀委員)

子育て支援拠点とも情報交換をされていたりとか、講習会を開催されているかと思うのですが、リユース会についても、他の拠点にも協力してもらい、リユースするものを集めたりとか、お手伝いしてもらったりなど、拠点同士で協力し合い繋がりをもつことが良いかと思っています。

園でもバザーをしますが、小さい子用のお洋服が余った際に処分となっています。

リユース会は、とても良い活動だと思うので、協力し合えるといいのではないかなと思いました。

(事務局：北村所長)

ありがとうございます。また、拠点で集まったときに、お話したいと思います。

(大塚会長)

まずは、小さい子用のお洋服が余ったら、別の所で活用するなど小さなことから始めて、一緒に行くというところまで繋げられるといいですね。

このゆびと〜まれフェスタで、ある親子がいろいろな拠点を利用していたことが分かり、情報共有ができました。

かべ新聞を手書きにしたのはどのような意図があるんですか。

(事務局：北村所長)

いろいろなお知らせは活字が多いかと思うのですが、手書きだと目に留まりやすく、温かみがあり気持ちが伝わりやすいと思い手書きにしています。今はかべ新聞を始めて5年目になりますが、当初は各月で発行していました。しかし内容を一つにまとめて年2回に変更したので、継続していきたいと思います。

(大塚会長)

園でも、現在は活字が多くなっていますが、やはり手書きの温かさがありますよね。目に留まりやすいというのは確かにと思いました。

(事務局：北村所長)

HPにもかべ新聞を掲載していますが、イラストは著作権の関係で掲載できないので、スタッフが手書きで絵を描いています。

(大塚会長)

他にご質問等ありますか。

それでは次の6地域交流事業について説明をお願いします。

(事務局：小笠原所長、北村所長)

— 9～12頁に基づき、地域交流事業、オンライン事業、感染症への対応、防災、「みんなの声きかせてBOX」に投函されたご意見について説明—

(大塚会長)

ここまでの件について、ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

(杉浦副会長)

スマイルカフェとほっこりカフェを月に1回ずつ実施しております。ソールにはいつもお世話になっています。どちらも予算が少なくおもちゃが買えないので、社会福祉協議会からお借りしたり、参加者から参加費をもらっています。ソールから手作りのかわいいおもちゃをお借りさせてもらっています。私たちのサロンを見ていただくのも良いことだし、普段ソールに行っている方がサロンにも来てくださっているので、同じお子さんをみることで連携がとれるかなと思っています。

赤ちゃん抱っこ体験でもお世話になっていて、以前は赤ちゃんの募集を自分たちでやっていた、子育てサロンでお声がけしたり、ウエルカムベビー訪問時にチラシを配ったりなど、募集が大変でした。ある年から、赤ちゃんの募集についてソール・マーレを中心に行っていただいています。また、親御さんも内容をわかって参加してくれているので、本当にありがたいと思っています。赤ちゃん抱っこ体験が家庭教育アドバイザーだけでなく、市教育委員会に協力いただいたり、ソール・マーレも一緒に行っているので、地域で連携ができているのかなと思います。

(大塚会長)

保育士養成校で学校の先生とお話をした時に、赤ちゃん抱っこ体験がある自治体は珍しいと伺いました。中学生の時に赤ちゃんに触れているか、職業体験を再開させて赤ちゃんや小さい子に興味を持ってもらうかしないと保育士になりたい人が少なくなりま

す。

保育士養成校の定員が6～6.5割れで、保育士養成校に行くとなると中学生の時に決めないといけないんですよね。今後保育士がいなくなる、そのような懸念を言っていました。なので、市内中学で赤ちゃん抱っこ体験を行っているということは、とても大事なことで、今後、こどもを育てる人がいるかいないかになっていきますので、是非続けていきたいです。やっぱり職業体験は復活させてほしいという話はしていました。高校生の受け入れも大事なことだと思います。仲よし保育園には、松山女子高等学校の生徒が家庭科の授業で来るのですが、小さい子と接して興味を持ってもらうことが本当に今後大事だと思います。

他にいかがですか。

(事務局：笹野部長)

オンライン事業については、コロナ禍で始まり、私たちは一切指示をしていないのですが、ソーレ・マーレスタッフ自らが何かできることはないかと一番に始めてくれて、動画の視聴回数も増えました。他市施設の保育士はパソコンが苦手な方でオンライン事業に否定的な方もいましたが、他市の施設でもオンライン事業が始まりました。

オンラインの良さを活かして継続していますが、スタートの何かできることはないかという気持ちが、継続と参加実績に関係していると思います。

(大塚会長)

子育て支援拠点でも、パソコンが苦手な方がいますが、他の拠点がオンライン事業を行っているから頑張ろうという気持ちになりました。私たちも励まされながらオンライン事業を続けています。続けていると、人見知り等の理由で家から出てこられない方が、オンラインをきっかけに来てくれるようになったので、オンライン事業を続けてよかったと思うこともありました。これからも、繋がりながら励まされながらやっていきたいと思っています。

他にいかがですか。

(川上委員)

リユース会において、おもちゃがなかなか集まらないとのことですが、小学生たちにお声がけして、いらなくなったおもちゃをリユース会にもってきてもらえると良いのかなと思いました。隣に住んでいる小学生から、不要になった絵本をもらいました。小学生になると手放すタイミングが難しいのかなと思いました。

(大塚会長)

小学校にあがると一区切りになるので、いろいろな物を整頓し始めるきっかけになりますね。

ソーレのみんなの声聞かせてBOXに、小学生も利用したいという声がありますが、夏休みだけでも小学生の利用を受け入れるか、または未就学のあそび場とするか、どのようなお考えですか。

(事務局：北村所長)

こども支援課の方と協議をして、安全面の観点から、小学生の受け入れをお断りすることとなりました。

ハイハイをする赤ちゃんがいるフロアに小学生がいることに不安になるお母さんもいます。

年中・年長も行き場がないと思いますので、年齢拡大でカバーをしたいと思っています。

(事務局：大石課長)

小学生も利用したいという声をいただいているのですが、お子さんの安全面を考えると、ソーレ・マーレで小学生を受け入れることは難しいと考えています。こども支援課で、各市民活動センターでのイベントを企画して、小学生に来てもらうという対応をせざるを得ないと思っています。

(杉浦副会長)

小学生を受け入れるというのは、ソーレ・マーレでは難しいと思います。時間を区切れればいいかもしれませんが、ソーレ・マーレにあるのは赤ちゃんのおもちゃになりますし、やっぱり児童

館とか小学生の居場所を作るしかないかなと思いますが、作るの  
は難しいですよ。

(柿田委員)

平野の子育てサロンぶらんこでお手伝いをした時、大きい子が  
参加した場合は、必ずスタッフが大きい方の子に一人ついて気を  
付けるようにしていました。0歳児と小学生とではきょうだい  
であっても気を付けた方がいいと思いますし、目の届かないところ  
で何が起こるかわからないですよ。初めての赤ちゃんを連れて  
来る方もいます。実際にお手伝いをして、赤ちゃん小学生が一  
緒に遊ぶのは危険かなと思いました。

もし、小学生を受け入れるのであれば、みんなで対応策を考え  
たり、設備を整える必要があると思います。

(杉浦副会長)

ソーレ・マーレや子育て支援拠点での小さい子への支援が充実  
すればするほど、小学生の支援はどうなのかということになりま  
すよね。市としての課題ではないですかね。あつたか懇話会でも  
話にあがりましたが、何とか考えていただきたいです。

(事務局：大石課長)

児童館もすぐに建物を建てるというわけにはなかなかいかない  
ところがありますので、もう少し考えさせていただければと思  
います。

(大塚会長)

乳幼児期が手厚いだけに、急にぽっかりするんですよ。子育  
てしやすいまちだと言っていたのとなるんですよ。学童のき  
らめきクラブは2、3年で選考から外れてしまう方もいて、夏休  
みは一人でいないといけませんよね。乳幼児期は支援が充実し  
ていたのとなってしまうのがもったいないですよ。よその力  
を借りながらも、ソーレ・マーレの続きとなるこどもの居場所  
をイメージしていかないと、子育てしやすいと大きな声で言え  
なくなると思います。

	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>(杉浦副会長)</p> <p>子育てサロンを行うにあたってソーレ・マーレを参考にしているので、ソーレ・マーレスタッフのスキルを、地域の子育てサロンに伝授していただきたいです。手作りしているものを教えてもらったり、親御さんとの関わり方を教えてもらうなど、地域の子育て支援者を育てるということも、ゆくゆくやっていただけたら嬉しいです。子育てを支援したいという人はいっぱいいると思うのですが、尻込みしてしまう方もいると思います。</p> <p>(事務局：北村所長)</p> <p>子育てサロンに行き、地域の方が利用者に対して丁寧に関わっているのをみて、とても勉強になりますので、今後も繋がっていったらと思います。</p> <p>(大塚会長)</p> <p>子育てサロンの良さもありますよね。おじいちゃん、おばあちゃんの家遊びにいったようなほっとする気持ちになる場所でもありますよね。お互いに違うところも良い点だと思います。でも共有し合うのも良いですよ。</p> <p>他にはいかがでしょうか。それでは次の説明をお願いします。</p> <p>(事務局：北村所長)</p> <p>— 13～16頁に基づき、ソーレ・マーレ年間事業実施報告（4～9月）、入館者数、利用者統計、ついて説明—</p> <p>(大塚会長)</p> <p>ここまでの件で、ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。無いようでしたらこれですべての議事を終了とし、議長の役を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
4 その他	
5 閉会	事務局：大石課長

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和6年12月2日 署名委員 杉浦 裕美

署名委員 柿田 和子